

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391600133
事業所名	グループホーム 向の山

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 法人を挙げて取り組んだ地域住民を対象とした「認知症講演会」が、緑文化小劇場で開催された。開催まで、来場者数が心配されたが、当日は目標とした来場者数300名を超える盛況ぶりであった。 地域の防災イベントでは、管理者が「車いすの使用方法」を参加者にレクチャーした。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 法人内の3ホームが合同で運営推進会議を開催しており、毎偶数月、年間6回の開催である。 家族の参加が多く、地域包括支援センターや民生委員・児童委員、自治会、老人会等は、組織の責任者が出席している。 質疑応答では、参加者それぞれが責任ある発言をしている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 今年度の運営推進会議には、行政枠として「いきいき支援センター」（地域包括支援センター）のセンター長が参加し、区の担当者とのパイプ役となっている。 会議の中で、家族支援事業や認知症家族教室、認知症家族サロン、医師による専門的な相談事業等々、区の取り組みの案内や説明がある。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 法人を挙げて、家族の意見や要望をホーム運営に反映させようとの思いが強く、様々なツールを使って意見を集めている。 年に2回、家族アンケートを実施し、その他にもイベント実施後にアンケートを取っている。毎月、「ほほえみだより」を発行しているが、それに同封し、「社長直行便」の投稿用はがきを届けている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎